

瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会
平成20年度総会プログラム

5月16日(金)

会場：JA西宇和会館 5階(八幡浜市)

<受付> 12:30～13:00

【開会】 13:00～13:30

開会挨拶	瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会	会長	江島 潔
来賓挨拶	国土交通省港湾局長		須野原 豊
歓迎挨拶	愛媛県知事		加戸 守行
	(代理 愛媛県副知事		高浜壮一郎)
	八幡浜市長		高橋 英吾

【第1部】 13:30～14:30

議 事

議長選出

- 1号議案 平成19年度事業報告について
- 2号議案 平成19年度収支決算報告について
- 3号議案 「協議会活動指針のアクションプラン」について
- 4号議案 平成20年度事業計画(案)について
- 5号議案 平成20年度収支予算(案)について
- 6号議案 要綱等の改正について
- 7号議案 平成21年度総会開催地等(案)について

【第2部】 14:40～17:00

第2回瀬戸内海首長サミット

「瀬戸内海の観光振興方策について」

挨拶	国土交通大臣政務官	山本 順三
報告	国土交通省港湾局長	須野原 豊
司会	国土交通省四国地方整備局次長	篠原 正治
参加者	会員市町長、国土交通省港湾局長、地方整備局幹部	

5月17日(土)

【市民参加イベント】 8:20～12:00

場所：八幡浜港周辺～保内地区

「八幡浜再発見！レトロな町並み散策と宇和海クルーズ」

- 8:20 ハーバープラザホテル前集合
- 8:40 宇和海クルージング
- 9:20 川之石地区町並み散策
- 11:00 浜之町界隈の町並み散策
- 12:00 解散

平成20年度総会報告

平成20年5月16日（金）愛媛県八幡浜市 JA 西宇和会館にて、瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会平成20年度総会が開催されました。総会には瀬戸内海地域全体の更なる振興と発展を図るために近畿・中国・四国・九州の瀬戸内海沿岸各地から約110名の参加を受け、盛大に開催されました。

総会は二部で構成されており、第一部では平成19年度の活動報告及び平成20年度の活動方針等について審議を行い、第二部では会員市町長、各地方整備局幹部に国土交通省幹部を交え「第2回瀬戸内海首長サミット」を行いました。



総会は協議会会長である**江島 潔 下関市長（写真左）**から「昨年度開催したクルージング船の寄港地歓迎イベントは寄港地の自治体のみならず周辺自治体も共同で、しかも各寄港地間を結ぶいわゆるネットワークを活かした取り組みとなり、今後の活動に弾みをつけるものとなりました。これからは会員からの提案、各地域情報を協議会活動に活かした積極的な展開をしていきたい。」との開会の挨拶により始まりました。

続いて、**国土交通省港湾局 須野原 豊 局長（写真右）**から「これからますます地域の連携が大事になってきます。瀬戸内海の新文化の創造、観光、レクリエーションの振興に対して瀬戸内海が持ついろいろな資源をうまく使っていただきたい。」また、「協会の従来からの様々な分野の地道な活動に改めて感謝を申し上げたい。」との挨拶を頂きました。



さらに地元である**加戸 守行 愛媛県知事（代理 高浜 壮一郎 愛媛県副知事（写真左））**から「本協議会が、港湾・海岸行政をはじめ地域の活性化にご尽力されており、深く敬意を表します。また、瀬戸内海地域の行政関係者が一堂に会し、情報発信、交流基盤の整備など論議されますことは、誠に意味深いことと存じます。皆様方には行政区域の枠を超え、瀬戸内海の地域全体の振興と発展に力添えを賜りたい。」との挨拶を頂きました。

続いて、**高橋 英吾 八幡浜市長（写真右）**からは「本協議会の総会が、当市で開催されることは、地元市長として大変ありがたく厚くお礼申し上げますとともに、当協議会がますます発展し、各地が賑わい活力を増していくことを願っている。」との挨拶を頂きました。



第一部 議事について

第一部では、議長に選出された**高橋 英吾 八幡浜市長（写真右）**の議事進行により平成 19 年度の事業報告及び平成 20 年度の事業計画など 7 議案について審議され、平成 18 年度総会にて決議された活動指針をより具体的な事業として実行に移すためのアクションプランを策定することや、平成 21 年度の次回総会を和歌山県湯浅町で開催することなど 7 議案すべて決議されました。



第二部 「第2回 瀬戸内海首長サミット」について

平成 19 年 6 月観光立国推進基本計画が閣議決定され、国際競争力の高い魅力ある観光地の形成など、政府が総合的かつ計画的に講ずべき施策が定められたところでもあります。さらに、観光圏整備法が成立し、今後は地域の創意工夫を活かした観光振興や個性豊かで活力に満ちた地域社会の実現が求められてくるなど、観光に対する期待の高まりがあります。



そこで、冒頭、**山本 順三 国土交通大臣政務官（写真左）**から「今国会で観光振興にかかる法律が 2 本成立。それらを活用しながら瀬戸内の観光振興策が語られるとありがたい。」また「国土交通省も観光振興ために役立つ施策を 10 月設立の観光庁を中心に展開したい。そのために皆さん方と連携プレーを今後も取らせていただきたい。」との挨拶により始まりました。

続く第 2 回瀬戸内海首長サミットでは、**国土交通省港湾局 須野原 豊 局長（写真右）**より、「観光振興を支援するみなとづくり」と題して、観光立国推進に向けた政府の動き、みなと振興交付金など各種支援制度、クルーズ振興を図る上での課題と方向性について、港湾振興という観点での施策について報告をしていただきました。



その後、「瀬戸内海の観光振興方策について～瀬戸内ブランドの確立を目指して～」と題して、市町村会員（各首長）、国会議員（地方整備局幹部）に国土交通省幹部を交え、**四国地方整備局 篠原 正治 次長（写真左）**の司会進行により、瀬戸内海における観光振興について協議会や各会員が取り組むべき具体的な内容を議論し、以下の提言を決議しました。



中国地方整備局
副局長 芦田 義則氏



大竹市長
入山 欣郎氏



尾道市長
平谷 祐宏氏



瀬戸内市長
立岡 脩二氏



玉野市長
黒田 晋氏



光市長
末岡 泰義氏



国土交通省港湾局長
須野原 豊氏



下関市長
江島 潔氏

第2回 瀬戸内海首長サミット参加者



近畿地方整備局
副局長 森川 雅行氏



九州地方整備局
副局長 佐藤 孝夫氏



湯浅町長
伏木 建氏



西予市長
三好 幹二氏



伊予市長
中村 佑氏



八幡浜市長
高橋 英吾氏



坂出市長
松浦 稔明氏



松茂町長
広瀬 憲発氏



四国地方整備局
次長 篠原 正治氏

瀬戸内海の観光振興方策に関する提言

平成 20 年 5 月 16 日

瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会

瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会は、平成3年に設立され、設立当初より、その目的のひとつとして観光振興を掲げている。さらに、平成18年度総会においては、設立趣旨に立ち返った協議会活動指針が決議され、その際三本柱の一つとして「瀬戸内海の景観、歴史、文化、食、街並み等インバウンド観光時代における瀬戸内の魅力発信」が掲げられている。

折しも、平成19年6月に観光立国推進基本計画が閣議決定され、国際競争力の高い魅力ある観光地の形成など、政府が総合的かつ計画的に講ずべき施策が定められたところである。さらに、観光圏整備法が成立し、今後は地域の創意工夫を活かした観光振興や個性豊かで活力に満ちた地域社会の実現が求められてくるなど、我が国における観光を取り巻く状況は大きく変化しつつある。

こうした状況を踏まえ、当協議会においては会員相互の連携のもと以下の取組を積極的に進めることにより、瀬戸内海地域の更なる観光振興を目指す。

- ①瀬戸内海が有する自然、景観、歴史、文化等の多様な資源を守り伝えるための広報活動や観光ルートの提案等更なる魅力創出のための活動の推進
- ②瀬戸内海地域を訪れる観光客にとっての玄関である「みなと」を核とした観光振興に資する施策の提案
- ③観光の振興に寄与する人材の育成に向けた活動を展開